

# 株式会社AOKIホールディングス 第43回 定時株主総会 招集ご通知

## 開催日時

2019年6月27日(木曜日)  
午前10時(受付:午前9時)

## 開催場所

ホテルニューオータニ  
ザ・メインアーケード階  
おり鶴 麗の間

## 議案

- 第1号議案 取締役13名選任の件
- 第2号議案 監査役2名選任の件
- 第3号議案 取締役に対する株式報酬型ストック・オプションとしての新株予約権に関する報酬等の額及び具体的内容決定の件

## 株主総会にご出席いただけない場合



郵送又はインターネットにより  
議決権を行使くださいますよう  
お願い申し上げます。

## 議決権行使期限

2019年6月26日(水曜日)  
午後5時まで

詳細はP3をご覧ください▶

# Contents

<b>株主総会招集ご通知</b>	2
<b>株主総会参考書類</b>	6
第1号議案 取締役13名選任の件	6
第2号議案 監査役2名選任の件	11
第3号議案 取締役に対する株式報酬型 ストック・オプションとしての 新株予約権に関する報酬等の 額及び具体的内容決定の件	13
(添付書類)	
<b>事業報告</b>	15
<b>連結計算書類</b>	32
<b>計算書類</b>	34
<b>監査報告書</b>	36
<b>株主通信</b>	39
トップメッセージ	40
連結業績及び配当金の推移	41
特集 AOKI横浜港北総本店 リニューアルオープン &AOKIホールディングス 新本社竣工	42
FASHION トピックス	44
BRIDAL トピックス	46
ENTERTAINMENT トピックス	47
お知らせ AOKIグループ新会員制度 「AOKIグループアンバサダーズ」 を開始	48
株主御優待券について	49

## ごあいさつ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

AOKIグループは、日本経済が高度成長期を迎えた1958年、「ビジネスマンが日替わりでスーツを着られる世の中になりたい」との思いを胸に誕生しました。以来、お客様のニーズにお応えし社会貢献することを念頭に、「社会性の追求」「公益性の追求」「公共性の追求」という3つの経営理念を掲げ、企業活動を推進してまいりました。

そして2018年9月、おかげさまで創業60周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、ステークホルダーの皆様のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

当社グループは、“人々の人生に輝きと喜びをご提供する”さまざまなビジネス領域において、新たなイノベーションを追求してまいりました。そのような独自のDNAを継承・強化し、より広く社会に貢献していくことを目指し、「人々の喜びを創造する」という新しい事業コンセプトを掲げました。これをもとに、これからも多くのお客様にお喜びいただける商品・サービスの創造に全力を尽くしてまいります。

株主の皆様には、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようよろしく願い申し上げます。

代表取締役社長

青木 彰宏



## グループ経営理念

AOKIグループは経営理念と事業コンセプトに基づき事業を展開しております。

### 経営理念

#### 「社会性の追求」

ビジネスそのもので、世の中のためになるうということ。つまり、たゆまぬ努力の継続により、顧客満足を創造し実践してゆくことです。

#### 「公益性の追求」

社会性の追求をした上でさらに、適正利潤を確保し、適正配分すること。つまり、税金等を支払うことにより社会還元してゆくことです。

#### 「公共性の追求」

ビジネス以外でも、世の中のためになる生き方を追求すること。つまり、チャリティーの開催、地域社会発展に寄与する文化活動の推進、あるいは個人として、ボランティアな精神活動に心掛けてゆくことです。

### 事業コンセプト

## 人々の喜びを創造する



さまざまなライフステージで  
人々の人生を美しく輝かせたい  
という思いをもとに  
多彩な事業を通じ、  
すべてのステークホルダーの皆様の  
喜びの創造に貢献していきます。

証券コード8214  
2019年6月5日

株主の皆様へ

横浜市都筑区葛が谷6番56号  
株式会社AOKIホールディングス  
代表取締役社長 青木 彰宏

## 第43回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第43回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面又は電磁的方法（インターネット）によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、2019年6月26日（水曜日）午後5時までに議決権を行使くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1 日 時 2019年6月27日（木曜日） 午前10時

2 場 所 東京都千代田区紀尾井町4番1号  
ホテルニューオータニ ザ・メインアーケード階 おり鶴 麗の間

3 目的事項

報告  
事項

- 1.第43期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 2.第43期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）計算書類報告の件

決議  
事項

- 第1号議案 取締役13名選任の件
- 第2号議案 監査役2名選任の件
- 第3号議案 取締役に対する株式報酬型ストック・オプションとしての新株予約権に関する報酬等の額及び具体的内容決定の件

以上

※ 株主総会参考書類並びに事業報告、計算書類及び連結計算書類に記載すべき事項を修正する必要が生じた場合は、修正後の事項を当社ホームページに掲載いたしますのでご了承ください。

※ 第43回定時株主総会招集ご通知添付書類のうち、以下の事項につきましては、法令及び当社定款第15条の規定に基づき、インターネット上の当社ホームページに掲載しておりますので、本定時株主総会招集ご通知添付書類には記載しておりません。

- 事業報告 …新株予約権等に関する事項、業務の適正を確保するための体制及びその運用状況
- 連結計算書類…連結株主資本等変動計算書、連結注記表
- 計算書類 …株主資本等変動計算書、個別注記表

したがって、本定時株主総会招集ご通知添付書類は、会計監査人が会計監査報告を作成するに際して監査をした連結計算書類又は計算書類の一部です。

当社ホームページ

<http://www.aoki-hd.co.jp/>

# 議決権行使方法についてのご案内

議決権は、株主の皆様が当社の経営にご参加いただくための大切な権利です。  
議決権の行使方法には、**3つの方法**がございます。

## 当日ご出席の場合

当日株主総会にご出席の際は、議決権行使書用紙を会場受付へご提出ください。

株主総会開催日時：**2019年6月27日（木曜日）**  
**午前10時（受付：午前9時）**



## 当日ご出席願えない場合

当日ご出席願えない場合は、以下のいずれかの方法により議決権を行使することができます。



### 郵送による議決権の行使

同封の議決権行使書用紙に賛否をご表示のうえ、下記行使期限までに到着するようご返送ください。

行使期限：**2019年6月26日（水曜日）**  
**午後5時までに到着**



### インターネットによる議決権の行使

<https://evote.tr.mufg.jp/>

インターネットにより上記専用サイトにアクセスしてください。  
ログインID・仮パスワードをご利用になり、画面の案内に従って、議決権を行使してください。

行使期限：**2019年6月26日（水曜日）**  
**午後5時まで受付**

# インターネット等による議決権行使のご案内

インターネットによる議決権行使は、スマートフォンまたはパソコン等から議決権行使ウェブサイトへアクセスいただき、画面の案内に従って行使していただきますようお願いいたします。

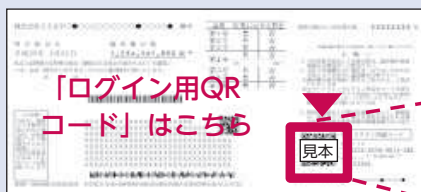
## 議決権行使期限

2019年6月26日(水曜日)  
午後5時まで



## スマートフォンの場合 QRコードを読み取る方法

詳しくは同封の案内チラシをご覧ください



議決権行使書副票 (右側)



スマートフォンでの議決権行使は、「ログインID」「仮パスワード」の入力が不要になりました！

同封の議決権行使書副票（右側）に記載された「ログイン用QRコード」を読み取りいただくことで、ログインいただけます。

※上記方法での議決権行使は1回に限ります。

二回目以降のログインの際は…

右頁の記載のご案内に従ってログインしてください。

MUFG 三菱UFJ信託銀行

株主総会に関するお手続きサイトへようこそ  
(株主名簿管理人)三菱UFJ信託銀行証券代行部

本サイトを利用し、株主総会に関するお手続きをされる場合、必ず事前に「利用規定」および「利用ガイド」をご覧ください。

利用規定

利用ガイド

上記記載内容をご了承される場合には、下の「株主総会に関するお手続き」を押してください。

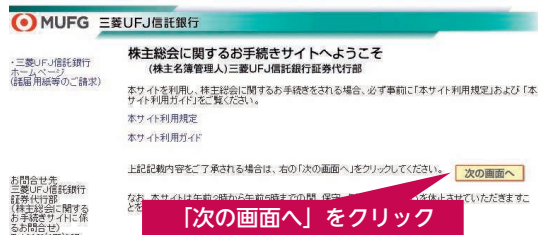
株主総会に関する  
お手続き

なお、本サイトは午前7時から午前5時までの間、停

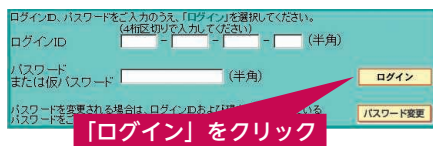


## ログインID・仮パスワードを入力する方法

### 1. 議決権行使ウェブサイト にアクセスする



### 2. お手元の議決権行使書用紙の 副票 (右側) に記載された「ログイン ID」および「仮パスワード」を入力



### 3. 「新しいパスワード」と 「新しいパスワード (確認用)」 の両方に入力



以降は画面の案内に従って賛否を  
ご入力ください。

### 議決権行使ウェブサイト

<https://evote.tr.mufg.jp/>



### ご注意事項

- ※1 「iモード」は(株)NTTドコモ、「EZweb」はKDDI(株)、「Yahoo!」は米国Yahoo!Inc.、「Yahoo!ケータイ」はソフトバンク(株)の商標、登録商標又はサービス名です。
- ※2 パソコンによる議決権行使は、インターネット接続にファイヤーウォール等を使用されている場合、アンチウイルスソフトを設定されている場合、proxyサーバーをご利用の場合等、株主様のインターネット利用環境によっては、ご利用できない場合もございます。
- ※3 携帯電話による議決権行使は、iモード、EZweb、Yahoo!ケータイのいずれかのサービスをご利用ください。又、セキュリティ確保のため、暗号化(SSL通信)及び携帯電話情報の送信が不可能な機種には対応しておりません。
- ※4 議決権行使サイトへのアクセスに際しての費用(インターネット接続料金・電話料金等)は、株主様のご負担となります。又、携帯電話をご利用の場合は、パケット通信料・その他携帯電話利用による料金が必要になりますが、これらの料金も株主様のご負担となります。

### 【議決権行使サイトの操作方法に関する お問い合わせについて】

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部

**0120-173-027**

(通話料無料、受付時間：9：00～21：00)

## 第1号議案 取締役13名選任の件

2018年9月30日付をもって取締役中村宏明氏が辞任され、また、本総会の終結の時をもって取締役全員（12名）が任期満了となりますので、改めて取締役13名の選任をお願いしたいと存じます。

取締役候補者については、取締役会全体としての知識・経験・能力のバランスを考慮し、個人的にも専門性や企業倫理を有し的確かつ迅速な意思決定ができること、また経営理念を追求し続けられることを基準に選任、指名しております。手続きについては、指名・報酬委員会への諮問、答申を受け取締役会で決議しております。

取締役候補者は次のとおりです。

候補者番号	氏名	現在の当社における地位及び担当	取締役会出席状況
1	青木 拓憲 <b>再任</b>	代表取締役会長	12回中12回 (100%)
2	青木 寶久 <b>再任</b>	代表取締役副会長	12回中12回 (100%)
3	青木 彰宏 <b>再任</b>	代表取締役社長	12回中11回 (91.7%)
4	田村 春生 <b>再任</b>	取締役副社長 グループ管理・財務担当	12回中12回 (100%)
5	清水 彰 <b>再任</b>	取締役副社長 グループ店舗開発担当	12回中12回 (100%)
6	青木 柁允 <b>再任</b>	常務取締役	12回中10回 (83.3%)
7	荒木 渉 <b>再任</b>	常務取締役 グループ総務・人事担当	12回中11回 (91.7%)
8	照井 則男 <b>再任</b>	常務取締役 グループデジタル・情報システム担当 兼デジタル・CRM推進室長	9回中9回 (100%)
9	投元 谿太 <b>新任</b>	常務執行役員 社長室長	-
10	野口 暉充 <b>新任</b>	常務執行役員 グループコスト管理担当	-
11	東 英和 <b>新任</b>		-
12	稲垣 稔 <b>独立 社外 再任</b>	取締役	12回中12回 (100%)
13	尾原 蓉子 <b>独立 社外 再任</b>	取締役	12回中12回 (100%)

(注) 取締役会出席状況については、取締役就任以降のみを対象としております。



## 1 青木 拡憲 (1938年9月23日生)

再任

### ■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

1976年8月	当社設立 代表取締役社長	(重要な兼職の状況)
2007年1月	(株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役会長	(株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役副会長
2010年6月	代表取締役会長（現任） (株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役副会長（現任）	

■ 所有する当社の株式数 2,565,666株

## 2 青木 寶久 (1946年1月10日生)

再任

### ■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

1976年8月	当社設立 常務取締役	(重要な兼職の状況)
1981年6月	取締役副社長	(株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役会長
2004年6月	アニヴェルセル(株)取締役会長	
2007年1月	(株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役社長	
2010年6月	代表取締役副会長（現任） (株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役会長（現任）	

■ 所有する当社の株式数 2,566,588株

## 3 青木 彰宏 (1970年5月20日生)

再任

### ■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

1994年4月	当社入社	2014年1月 (株)AOKI代表取締役会長
2003年5月	オリヒカ事業創業	2017年6月 同社取締役会長
2005年6月	執行役員	2018年10月 同社代表取締役会長（現任）
2008年4月	(株)オリヒカ代表取締役社長	
2009年6月	常務取締役	(重要な兼職の状況)
2010年4月	(株)AOKI取締役副会長	(株)アニヴェルセルHOLDINGS取締役副社長
2010年6月	代表取締役社長（現任） (株)アニヴェルセルHOLDINGS取締役副社長（現任）	(株)AOKI代表取締役会長

■ 所有する当社の株式数 2,564,600株

た むら はる お  
4 田 村 春 生 (1957年2月21日生)

再任

■ 略歴、当社における地位、担当 (重要な兼職の状況)

1980年4月	(株)横浜銀行入行	2007年6月	取締役
1999年7月	同行横浜シティ支店長	2008年4月	常務取締役
2003年4月	アニヴェルセル(株)入社 取締役管理本部長	2010年4月	グループ管理・財務担当 (現任)
2004年10月	同社専務取締役	2010年6月	取締役副社長 (現任)
2006年6月	当社入社 執行役員 グループ財務担当		

■ 所有する当社の株式数 54,900株

し みず あきら  
5 清 水 彰 (1955年3月10日生)

再任

■ 略歴、当社における地位、担当 (重要な兼職の状況)

1977年4月	当社入社	2014年1月	常務取締役
1986年2月	店舗開発部長	2017年4月	(株)AOKI代表取締役会長
1990年6月	取締役	2017年6月	取締役副社長 (現任)
1996年6月	常務取締役		グループ店舗開発担当 (現任)
2002年3月	営業本部長	2018年1月	(株)ヴァリック取締役 (現任)
2003年6月	専務取締役		
2006年4月	AOKIカンパニー プレジデント		(重要な兼職の状況)
2008年4月	取締役 (株)AOKI代表取締役社長		(株)ヴァリック取締役

■ 所有する当社の株式数 75,260株

あお き まさ みつ  
6 青 木 柁 允 (1969年4月21日生)

再任

■ 略歴、当社における地位、担当 (重要な兼職の状況)

1993年4月	当社入社	2017年4月	アニヴェルセル(株)取締役会長 (現任)
2002年9月	アニヴェルセル(株)出向		
2004年6月	同社取締役副社長		(重要な兼職の状況)
2008年4月	(株)アニヴェルセルHOLDINGS取締役 副社長		(株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役社長 アニヴェルセル(株)取締役会長
2010年3月	アニヴェルセル(株)取締役副会長		
2010年6月	常務取締役 (現任) (株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取 締役社長 (現任)		

■ 所有する当社の株式数 2,562,400株

## 7 荒木 渉 (1956年7月5日生)

再任

### ■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

1979年3月	(株)トリイ（現 (株)AOKIホールディングス）入社	2015年6月	常務取締役（現任） グループ人事担当
2005年6月	メンズ事業部計画管理室長	2016年4月	(株)AOKI取締役副社長
2007年6月	執行役員	2018年2月	グループ人事担当
2008年4月	(株)AOKI常務取締役経営戦略企画担当	2018年10月	グループ総務・人事担当（現任）
2010年10月	同社専務取締役営業部長		
2014年4月	同社人事本部長		

■ 所有する当社の株式数 6,700株

## 8 照井 則 男 (1957年4月4日生)

再任

### ■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

1980年4月	(株)すかいらーく入社	2015年11月	当社入社 執行役員情報システム本部 副本部長
1996年5月	日本マクドナルド(株)入社		
2002年7月	同社情報システム企画部マネージャー	2018年6月	常務取締役（現任）
2003年2月	スターバックスコーヒージャパン(株)入社	2018年12月	グループデジタル・情報システム担当 兼デジタル・CRM推進室長（現任）
2008年4月	同社Vice-President 情報システム本部長		

■ 所有する当社の株式数 3,100株

## 9 投元 裕 太 (1961年5月26日生)

新任

### ■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

1985年4月	当社入社	2010年10月	アニヴェルセル(株)取締役
1995年5月	社長室長	2016年9月	執行役員
1998年11月	広報室長		社長室長（現任）
2000年10月	アニヴェルセル事業部 アニヴェルセル ヴィラヨコハマ総支配人	2017年4月	常務執行役員（現任）
2007年6月	執行役員 経営戦略企画室長		

■ 所有する当社の株式数 1,000株

10 <sup>の</sup> <sup>ぐち</sup> <sup>てる</sup> <sup>みつ</sup> 野 □ 暉 充 (1962年3月18日生)

新任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

1985年4月	当社入社	2010年4月	グループ海外戦略担当
1993年8月	商品戦略企画室長	2015年6月	グループ商品戦略担当
2003年6月	執行役員	2018年6月	常務執行役員（現任）
2006年6月	グループ商品担当		グループコスト管理担当（現任）
2007年6月	取締役		
2008年4月	常務取締役		

■ 所有する当社の株式数 16,000株

11 <sup>あずま</sup> <sup>ひで</sup> <sup>かず</sup> 東 英 和 (1965年8月26日生)

新任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

1988年3月	(株)トリイ（現(株)AOKIホールディングス）入社	2018年11月	(株)ヴァリック執行役員
2005年10月	メンズ事業部マーケティング・販売促進部次長	2019年4月	同社取締役副社長（現任）
2008年4月	(株)AOKI執行役員 マーケティング・販売促進部長		
2012年6月	同社専務取締役		
2016年4月	同社経営戦略企画室長		

■ 所有する当社の株式数 2,200株

12 <sup>いな</sup> <sup>がき</sup> <sup>みのる</sup> 稲 垣 稔 (1947年8月29日生)

独立

社外

再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

1979年6月	プライスウォーターハウス会計事務所 入所	(重要な兼職の状況) 公認会計士
1982年8月	公認会計士登録	
1986年2月	当社監査役	
1987年10月	常勤監査役	
2014年6月	取締役（現任）	

■ 所有する当社の株式数 100,220株

■ 社外取締役候補者の選任理由

稲垣稔氏は、公認会計士としての経験を重ね、豊富な専門知識と経営に関する高い識見を有しており、客観的視点で、独立性をもって経営の監視を遂行していただくには適任であること、これにより、取締役会の透明性の向上及び監督機能の強化にも繋がるものと判断し、社外取締役候補者といたしました。

## 13 おはら よう こ 尾原 蓉子 (1938年10月7日生)

独立 社外 再任

### ■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

1962年4月	旭化成工業(株) (現 旭化成(株)) 入社	2013年7月	(一社)ウィメンズ・エンパワメント・イン・ファッション代表理事
1991年6月	同社マーケティング部F B人材開発部長	2015年6月	取締役 (現任)
1994年6月	(株)旭リサーチセンター取締役		
1999年3月	(財)ファッション産業人材育成機構 I F I ビジネス・スクール学長		
2000年3月	エイボン・プロダクツ(株)取締役		
2008年5月	(株)良品計画取締役		
2009年4月	(財)ファッション産業人材育成機構 I F I ビジネス・スクール名誉学長		

### ■ 所有する当社の株式数

－ 株

### ■ 社外取締役候補者の選任理由

尾原蓉子氏は、ファッション・ビジネスの草分けとして50年の体験に基づく将来への洞察及びファッションのものの作りと流通の変革に関する提言活動を推進されています。これらのファッション業界に関する豊富な知識と経験、また会社経営での経験に基づき、当社の経営全般に有用な助言を行っていただけるものと判断し、社外取締役候補者といたしました。

- (注) 1. 取締役候補者 青木弘憲氏、青木寛久氏及び青木柁允氏の3名は、(株)アニヴェルセル HOLDINGSの代表取締役であり、同社は当社の議決権の39.6%を保有するその他の関係会社です。
2. その他候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
3. 取締役候補者 稲垣稔及び尾原蓉子の両氏は、社外取締役候補者です。
4. 社外取締役候補者に関する事項は次のとおりです。
- (1) 当社は稲垣稔及び尾原蓉子の両氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
- (2) 社外取締役候補者が当社の社外取締役に就任してからの年数  
稲垣稔氏及び尾原蓉子氏の当社の社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもってそれぞれ5年及び4年となります。また、稲垣稔氏は、過去に当社の監査役でありました。

## 第2号議案 監査役2名選任の件

本総会終結の時をもって監査役4名のうち中村憲待及び發知敏雄の両氏は任期満了となりますので、監査役2名の選任をお願いしたいと存じます。

なお、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者については、当社事業についての知識や経験、財務・会計に関する知見等を総合的な視点により指名しております。手続きについては、指名・報酬委員会への諮問、答申を受け取締役会で決議しております。

監査役候補者は次のとおりです。

1 なか むら けん じ 中村憲侍 (1949年3月30日生)

再任

■ 略歴、当社における地位 (重要な兼職の状況)

1976年8月	当社入社	営業部長	2003年5月	グループ管理担当
1980年6月	経理部長		2010年6月	取締役副社長
1980年7月	取締役		2010年7月	グループ経営企画担当
1982年11月	常務取締役		2015年6月	当社監査役 (現任)
1985年8月	管理本部長			
1996年6月	専務取締役			

■ 所有する当社の株式数 534,500株

2 ほっ ち とし お 發知敏雄 (1950年9月23日生)

独立

社外

再任

■ 略歴、当社における地位 (重要な兼職の状況)

1974年4月	東京国税局入局	2013年6月	公認会計士・税理士事務所開設 (現任)
1982年9月	プライスウォーターハウス会計事務所入所	2015年6月	当社監査役 (現任)
1983年2月	公認会計士登録		
2006年1月	公認会計士試験委員	(重要な兼職の状況)	
2010年8月	公認会計士協会学術賞審査委員	公認会計士	
2011年6月	税理士法人プライスウォーターハウスクーパーズ顧問		

■ 所有する当社の株式数 - 株

■ 社外監査役候補者の選任理由

發知敏雄氏は、公認会計士・税理士として企業会計に精通し、その専門知識と経験を活かし社外監査役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断し、社外監査役候補者いたしました。

- (注) 1. 各候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。  
 2. 監査役候補者 發知敏雄氏は、社外監査役候補者です。  
 3. 社外監査役候補者に関する事項は次のとおりです。  
 (1) 当社は發知敏雄氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。  
 (2) 社外監査役候補者が当社の社外監査役に就任してからの年数  
 發知敏雄氏の当社の社外監査役としての在任期間は、本総会終結の時をもって4年となります。

### 第3号議案 取締役に対する株式報酬型ストック・オプションとしての新株予約権に関する報酬等の額及び具体的内容決定の件

当社グループの結束力を高めると共に、当社グループ役職員の業績向上の意欲や士気を一層高め、企業価値の増大に資するため、当社の取締役（社外取締役を除く）を対象として株式報酬型ストック・オプション制度を導入いたしたいと存じます。

当社取締役の報酬等の額は、2008年6月20日開催の第32回定時株主総会において、年額4億50百万円以内、また、当社取締役の譲渡制限付株式報酬は、2018年6月27日開催の第42回定時株主総会において、上記の報酬枠とは別枠にて年額1億50百万円以内とそれぞれご承認いただき、今日に至っておりますが、これらの報酬等の額とは別枠にて、当社取締役（社外取締役を除く）に対して株式報酬型ストック・オプションとして、新株予約権を年額1億50百万円以内の範囲で割り当てるための報酬につき、ご承認をお願いするものです。

株式報酬型ストック・オプションの付与については、新株予約権の割り当てを受けた取締役に対し払込金額と同額の報酬を付与し、当該報酬債権と当該新株予約権の払込金額とを相殺することにより新株予約権を取得させるものです。ストック・オプションの報酬額は、新株予約権の割当日において算出した新株予約権1個あたりの公正価額に、割り当てる新株予約権の総数を乗じて得た額となります。

なお、現在の当社取締役は12名ですが、第1号議案「取締役13名選任の件」が原案どおり承認されますと、取締役の員数は13名（うち社外取締役は2名）となります。

株式報酬型ストック・オプションとしての新株予約権の内容は、次のとおりです。

#### (1) 新株予約権の目的である株式の種類及び数

新株予約権の目的である株式の種類は当社普通株式とし、新株予約権の目的である株式の数（以下、「付与株式数」という。）は1個当たり100株とする。

ただし、本総会決議の日後、当社が普通株式につき、株式分割（当社普通株式の無償割当を含む。以下、株式分割の記載につき同じ。）又は株式併合を行う場合には、新株予約権のうち、当該株式分割又は株式併合の時点で行使されていない新株予約権について、付与株式数を次の計算により調整する。

調整後付与株式数 = 調整前付与株式数 × 分割又は併合の比率

また、上記の他、付与株式数の調整を必要とするやむを得ない事由が生じたときは、当社は、当社の取締役会において必要と認められる付与株式数の調整を行うことができる。

なお、上記の調整の結果生じる1株未満の端数は、これを切り捨てる。

(2) 新株予約権の総数

各事業年度に係る定時株主総会の日から1年以内に割り当てる新株予約権の数は1,200個を上限とする。ただし、本総会終結の日以後において、上記(1)に定める場合に該当する場合には、同様の調整を行うものとする。

(3) 新株予約権の払込金額

各新株予約権の払込金額は、新株予約権の割当日において、ブラック・ショールズ・モデルにより算出した1株当たりのストック・オプションの公正な評価単価に、新株予約権1個当たりの目的である株式の数に乗じた金額とする。

なお、新株予約権の割り当てを受けた者は（以下、「新株予約権者」という。）、当該払込金額の払込みに代えて、当社に対する報酬債権をもって相殺するものとし、金銭の払込みを要しないものとする。

(4) 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

新株予約権の行使に際して出資される財産の価額は、新株予約権の行使により交付を受けることができる株式1株当たりの金額を1円とし、これに付与株式数に乗じた金額とする。

(5) 新株予約権を行使することができる期間

新株予約権を割り当てる日の翌日から10年以内の範囲で当社取締役会において定めるものとする。

(6) 新株予約権の行使の条件

新株予約権者は、新株予約権の権利行使時においても、当社又は当社関係会社の取締役、監査役、執行役員又は従業員であることを要する。ただし、任期満了による退任、定年退職その他正当な理由があると取締役会が認めた場合は、この限りではない。その他の新株予約権の行使条件については、新株予約権の募集事項を決定する取締役会において定めるものとする。

(7) 譲渡による新株予約権の取得の制限

譲渡による新株予約権の取得については、当社の取締役会の承認を要するものとする。

(8) その他の新株予約権の内容

新株予約権に関するその他の内容については、新株予約権の募集事項を決定する取締役会において定めるものとする。

以 上



(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

## 1 当社グループの現況

### (1) 事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。年度末にかけて米中貿易摩擦の影響等により世界的に景気減速感が増してまいりました。また、個人消費も物価の上昇や実質所得の伸び悩みなどにより節約志向が続いており、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

このような環境のなかで、当社グループは各事業会社において、環境の変化に対応した店舗展開の見直しや積極的な既存店の改装、また、更なる成長のための業態の進化に注力いたしました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、

<b>売上高</b>	
<b>1,939億18百万円</b>	(前年同期比 2.3%減)
<b>営業利益</b>	
<b>133億82百万円</b>	(前年同期比 10.0%減)
<b>経常利益</b>	
<b>118億90百万円</b>	(前年同期比 15.1%減)
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	
<b>46億2百万円</b>	(前年同期比 37.6%減)

となりました。

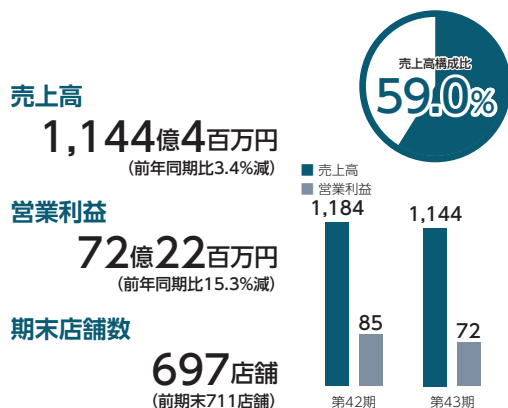
### AOKIグループ体制図



各事業区分別の状況は以下のとおりです。

## ファッション事業 **AOKI** ORIHICA

主に郊外のロードサイドにチェーンストア方式で紳士服及び婦人服、服飾品並びにファッション商品を販売する小売専門店「AOKI」、20代から40代のメンズ及びレディースをターゲットに、ビジネス&ビジカジの新たなスタイリングを提案する「ORIHICA」を展開しております。



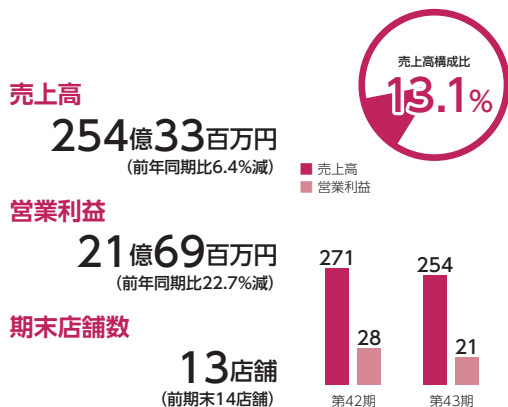
AOKIでは、フレッシュアーズマーケットに向けて、同世代で活躍しているグループSexy Zoneとドラマなどで活躍している女優の葵わかなさんを起用し、メンズでは「ニューネイビー&ブラックスーツ」、レディースではシルエットとデザイン性を追求した「360度きれいに見えるスーツ」等を訴求いたしました。また、パーソナルオーダースーツ及び40代、50代に向けた「AOKIウーマンスタイル」の提案を強化いたしました。店舗面では、都市型オーダー単独店「Aoki Tokyo」の銀座及び池袋の2店舗を含む7店舗を新規出店した一方、移転や業態転換を含む15店舗を閉鎖した結果、期末店舗数は566店舗（前期末574店舗）となりました。

ORIHICA（オリヒカ）は、WEB限定動画を公開するなど、動画マーケティングを強化した「フレッシュアーズ応援フェア」及び幅広いシーンでの着回しをご提案する「入卒園フェア」等を開催いたしました。店舗面では、2店舗を新規出店した一方、営業効率改善のため8店舗を閉鎖した結果、期末店舗数は131店舗（前期末137店舗）となりました。

これらの諸施策を実施しましたが、ビジネススタイルの変化やスーツの販売チャネルの多様化及び天候要因等により既存店が低調に推移し、売上高は1,144億4百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は72億22百万円（前年同期比15.3%減）となりました。

# アニヴェルセル・ブライダル事業 ANNIVERSAIRE

結婚式を通じて感動と誇りを感じるサービスをご提供するゲストハウススタイルの挙式披露宴施設を展開しております。また、アニヴェルセル表参道は、記念日をコンセプトに誕生しチャペルやパーティースペースのほか、パリスタイルのカフェを併設しております。



ゲストハウスウエディングスタイルの挙式披露宴施設を展開しているアニヴェルセル株式会社は、「アニヴェルセル」のコンセプトを明確にした販促訴求、ホームページのリニューアル及びSNSの強化等により集客力の向上を図りました。また、婚礼から広がるジュエリーやフォト等の記念日を軸とした商品・サービスを強化いたしました。しかしながら市場環境等の影響により施行組数が減少いたしました。店舗面では、営業効率改善のため福岡店を閉鎖した結果、期末店舗数は13店舗（前期末14店舗）となりました。

これらの結果、売上高は254億33百万円（前年同期比6.4%減）、営業利益は21億69百万円（前年同期比22.7%減）となりました。



## カラオケルーム運営事業



南仏にある地上の楽園と呼ばれるコート・ダジュールをテーマに、品のよい歌と語らいのさわやかにつろぎ空間の提供をコンセプトとして、カラオケルーム（コート・ダジュール）を展開しております。

### 売上高

**173億5百万円**

(前年同期比7.4%減)



### 営業利益

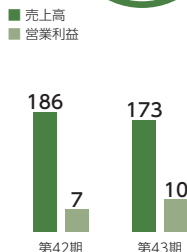
**10億22百万円**

(前年同期比33.6%増)

### 期末店舗数

**131店舗**

(前期末172店舗)



株式会社ヴァリックのカラオケルーム運営事業は、早朝営業及びモーニングパックの実施により新たな顧客を開拓するとともに、営業時間の短縮や定休日の導入等により店舗効率の改善を図りました。また、多様化するニーズを取り込むことを目的として13店舗のリニューアルを行い、既存店の活性化に注力いたしました。店舗面では、1店舗を新規出店した一方、複合カフェ運営事業への業態転換18店舗を含め42店舗を閉鎖した結果、期末店舗数は131店舗（前期末172店舗）となりました。

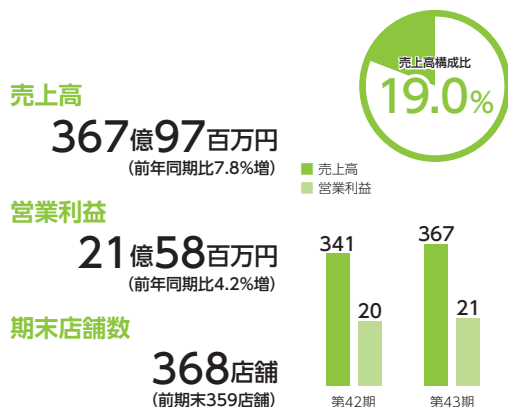
これらの結果、営業効率の改善を推し進めたこと等により、売上高は173億5百万円（前年同期比7.4%減）、営業利益は10億22百万円（前年同期比33.6%増）となりました。



## 複合カフェ運営事業

快活  
CLUB

リゾートアイランドのバリ島をイメージし、リラックスをテーマに時代にあった癒しの空間を提供する複合カフェ（快活CLUB等）を展開しております。



株式会社ヴァリックの複合カフェ運営事業は、ブース構成の改善やカラオケ、禁煙ブース及びシャワー等の増設を中心に56店舗の積極的なリニューアルを実施するとともに、シャワー無料及びタオルの使い放題や無料モーニング等の施策により、既存店の活性化に注力いたしました。店舗面では、20店舗を新規出店した一方、営業効率改善のため11店舗を閉鎖した結果、期末店舗数は368店舗（前期末359店舗）となりました。

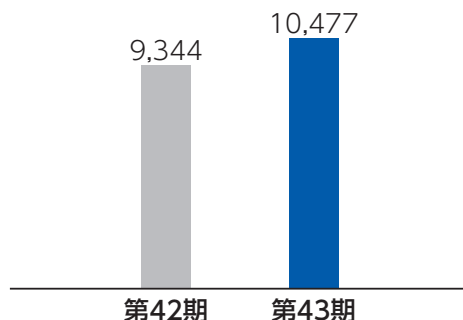
これらの結果、新規出店の寄与と引き続き既存店が堅調に推移し、売上高は367億97百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は21億58百万円（前年同期比4.2%増）と増収増益になりました。



## (2) 設備投資の状況

当連結会計年度の設備投資は、総額104億77百万円となりました。その主たるものは、ファッション事業で9店舗（AOKI7店舗、ORIHICA2店舗）、カラオケルーム運営事業で1店舗及び複合カフェ運営事業で20店舗の新規出店並びに各事業における改装、また、当社及びファッション事業の本社の増改築に係るものです。

設備投資額 (百万円)



## (3) 資金調達状況

当連結会計年度において、設備投資の資金として長期借入れを10億円実施いたしました。

## (4) 事業の譲渡、吸収分割又は新設分割の状況

該当事項はありません。

## (5) 他の会社の事業の譲受けの状況

重要な事業の譲受けはありません。

## (6) 吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はありません。

## (7) 他の会社の株式その他の持分又は新株予約権等の取得又は処分の状況

該当事項はありません。

## (8) 対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、消費税の動向、海外情勢、経済の動向や為替の変動など、先行きは不透明な状況が続くものと思われま。このような環境のなかで、当社グループは時代の変化に対応した諸施策を実施し、効率的な経営を推進するとともに、既存店の改廃に積極的に取り組み、事業基盤の強化に努めてまいります。

ファッション事業のAOKIは、消費者ニーズの変化に合わせた商品開発、レディース商品の品揃えの拡充及びパーソナルオーダーの販売を強化し既存店の活性化に注力するとともに、不採算店舗の閉店、移転や業態転換を含めた店舗展開の見直しを積極的に実施し営業効率の向上を図ってまいります。ORIHICAは、商品力の強化を継続するとともに、店舗の業務効率向上により収益力の改善を推進してまいります。新規出店は、移転や業態転換を含めファッション事業で9店舗を予定しております。

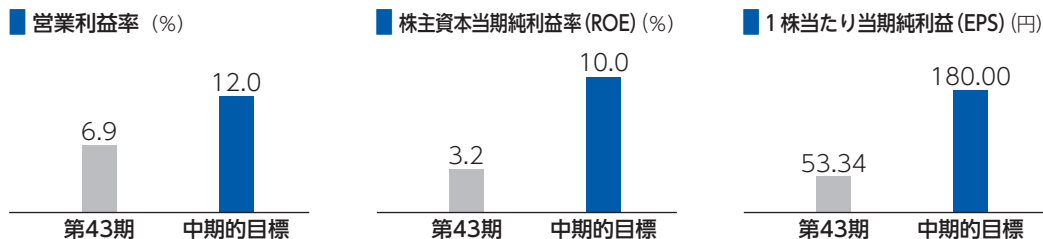
カラオケルーム運営事業と複合カフェ運営事業を展開している株式会社ヴァリックの組織変更及び複合カフェ運営事業の事業内容の多様化を踏まえ、2020年3月期より「カラオケルーム運営事業」と「複合カフェ運営事業」を統合し、「エンターテインメント事業」に変更いたします。エンターテインメント事業は、消費者ニーズに合わせた店舗運営に注力するとともに、将来を見据えた業態の進化のための改装や業態転換並びに新規出店を積極的に行ってまいります。新規出店及び改装はそれぞれ100店舗を予定しております。

以上の諸施策を的確に実施し、業績の向上に全力を上げて邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のあたたかいご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 経営指標の中期的目標

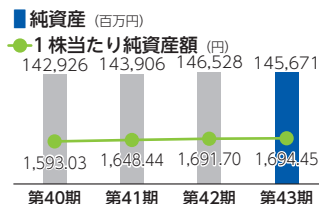
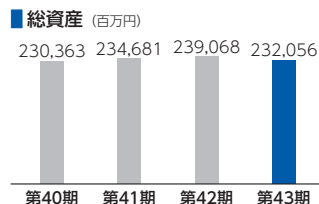
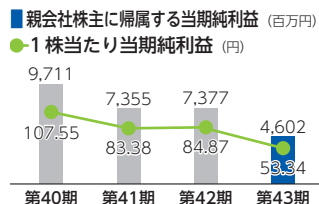
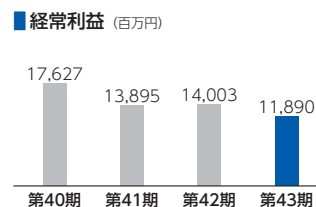
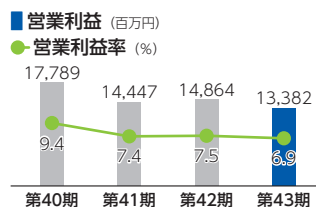
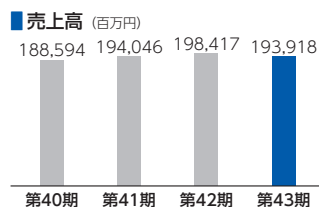
グループ全体で安定的成長路線を確保し、  
中期的目標の経営指標達成を目指す



## (9) 財産及び損益の状況

区分	第40期 2016年3月期	第41期 2017年3月期	第42期 2018年3月期	第43期 (当連結会計年度) 2019年3月期
売上高 (百万円)	188,594	194,046	198,417	193,918
営業利益 (百万円)	17,789	14,447	14,864	13,382
経常利益 (百万円)	17,627	13,895	14,003	11,890
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	9,711	7,355	7,377	4,602
1株当たり当期純利益 (円)	107.55	83.38	84.87	53.34
総資産 (百万円)	230,363	234,681	239,068	232,056
純資産 (百万円)	142,926	143,906	146,528	145,671
1株当たり純資産額 (円)	1,593.03	1,648.44	1,691.70	1,694.45

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式総数から期中平均自己株式数を控除した株式数により算出しております。また、1株当たり純資産額は期末発行済株式総数から期末自己株式数を控除した株式数により算出しております。
2. 第41期の売上高は、新規出店等により増加いたしました。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、ファッション事業の大規模改装に伴う費用や各事業における新規出店費用及び人件費や減価償却費の増加等により減少いたしました。
3. 第42期の売上高は、新規出店等により増加いたしました。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、売上高の増加等により増加いたしました。
4. 第43期(当連結会計年度)の状況につきましては、前記「(1) 事業の経過及び成果」に記載のとおりです。





## (10) 重要な子会社の状況

### ① 重要な子会社の状況

会社名	資本金 (百万円)	当社の出資比率 (%)	主要な事業内容
(株)AOKI	100	100.0	紳士服、婦人服及び服飾品並びにファッション商品の企画販売
アニヴェルセル(株)	100	100.0	結婚式場の運営
(株)ヴァリック	100	100.0	カラオケルーム、複合カフェ等の 娯楽施設の運営

### ② 事業年度末日における特定完全子会社の状況

会社名	住所	帳簿価額の合計額	当社の総資産額
(株)AOKI	神奈川県横浜市都筑区葛が谷6番56号	57,262百万円	157,174百万円

## (11) 主要な事業所及び店舗数 (2019年3月31日現在)

	AOKI	ORIHICA	アニヴェルセル	コート・ダジュール	快活CLUB	合計
北海道	23	-	-	-	7	30
青森県	4	-	-	-	-	4
岩手県	4	-	-	1	5	10
宮城県	9	5	-	6	6	26
秋田県	3	-	-	1	2	6
山形県	3	-	-	1	5	9
福島県	7	1	-	1	6	15
茨城県	15	3	-	2	12	32
栃木県	10	2	-	1	6	19
群馬県	12	-	-	1	8	21
埼玉県	52	13	1	1	27	94
千葉県	41	10	1	7	22	81
東京都	70	27	4	27	21	149
神奈川県	54	23	2	31	26	136
新潟県	10	2	-	3	8	23
富山県	9	-	-	2	2	13
石川県	8	-	-	6	4	18
福井県	3	-	-	6	1	10
山梨県	6	1	-	2	3	12
長野県	22	-	1	7	8	38
岐阜県	12	1	-	-	7	20
静岡県	22	3	-	5	14	44
愛知県	51	11	1	6	31	100
三重県	11	-	-	-	9	20
滋賀県	6	2	-	-	4	12
京都府	4	1	-	1	9	15
大阪府	34	12	2	5	32	85
兵庫県	13	11	1	4	17	46
奈良県	5	1	-	-	4	10
和歌山県	-	-	-	-	3	3
鳥取県	-	-	-	-	1	1
島根県	-	-	-	-	2	2
岡山県	-	-	-	2	6	8
広島県	5	2	-	-	9	16
山口県	-	-	-	-	4	4
徳島県	-	-	-	-	2	2
香川県	-	-	-	-	3	3
愛媛県	-	-	-	-	1	1
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	21	-	-	2	8	31
佐賀県	-	-	-	-	2	2
長崎県	3	-	-	-	3	6
熊本県	7	-	-	-	6	13
大分県	-	-	-	-	3	3
宮崎県	2	-	-	-	3	5
鹿児島県	5	-	-	-	3	8
沖縄県	-	-	-	-	3	3
合計	566	131	13	131	368	1,209

(注) 快活CLUBの神奈川県及び長野県には、「快活フィットネスCLUB」がそれぞれ1店舗含まれております。

**(12) 従業員の状況** (2019年3月31日現在)

## ① 当社グループの従業員の状況

事業区分	従業員数 (名)	前連結会計年度末比増減 (名)
ファッション事業	2,557 (1,743)	△104 ( △83)
アニヴェルセル・ブライダル事業	687 ( 433)	△32 ( 12)
カラオケルーム運営事業	229 (1,044)	△19 (△158)
複合カフェ運営事業	600 (2,522)	77 ( 158)
全社 (共通)	102 ( 52)	24 ( 8)
合計	4,175 (5,794)	△54 ( △63)

- (注) 1. 従業員数は、就業員数を記載しております。  
 2. 上記従業員数の(外書)は、契約社員及びパート・アルバイト社員(1日8時間換算)の年間平均雇用人数です。  
 3. 全社(共通)として記載されている従業員数は、特定の事業に区分できない管理部門等に所属しております。

## ② 当社の従業員の状況

従業員数 (名)	前事業年度末比増減 (名)	平均年齢 (歳)	平均勤続年数 (年)
102 (52)	24 (8)	42.2	8.7

- (注) 1. 従業員数は、就業員数を記載しております。  
 2. 上記従業員数の(外書)は、契約社員及びパート・アルバイト社員(1日8時間換算)の年間平均雇用人数です。  
 3. 従業員は、管理部門等に所属しております。

**(13) 主要な借入先の状況** (2019年3月31日現在)

借入先	借入残高 (百万円)
(株)横浜銀行	8,525
(株)三井住友銀行	8,450
(株)みずほ銀行	6,000
(株)りそな銀行	4,000
(株)八十二銀行	3,000
(株)北陸銀行	2,000

(注) 2019年3月末現在の借入残高が10億円を超える金融機関を記載しております。

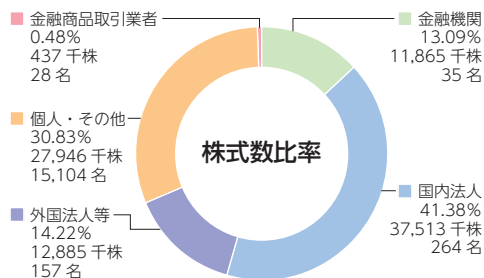
**(14) その他当社グループの現況に関する重要な事項**

該当事項はありません。

## 2 株式の状況 (2019年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 133,679,900株
- (2) 発行済株式の総数 90,649,504株  
(自己株式4,724,330株含む)
- (3) 単元株式数 100株
- (4) 株主数 15,588名
- (5) 大株主 (上位10名)

### 所有者別株式分布状況



株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
(株)アニヴェルセルHOLDINGS	34,015	39.58
日本スタートラスト信託銀行(株) (信託口)	3,378	3.93
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	2,684	3.12
青木寛久	2,566	2.98
青木拡憲	2,565	2.98
青木彰宏	2,564	2.98
青木柁允	2,562	2.98
AOKIホールディングス取引先持株会	2,356	2.74
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口9)	1,718	1.99
AOKIホールディングス従業員持株会	1,515	1.76

- (注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 日本スタートラスト信託銀行(株) (信託口)、日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口) 及び日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口9) の持株数は、すべて信託業務に係るものです。

### 3 会社役員 の 状況

#### (1) 取締役及び監査役の状況 (2019年3月31日現在)

地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役会長	青木 拓憲	(株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役副会長
代表取締役副会長	青木 寛久	(株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役会長
代表取締役社長	青木 彰宏	(株)アニヴェルセルHOLDINGS取締役副社長 (株)AOKI代表取締役会長
取締役副社長	田村 春生	グループ管理・財務担当
取締役副社長	清水 彰	グループ店舗開発担当 (株)ヴァリック取締役
常務取締役	青木 柁允	(株)アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役社長 アニヴェルセル(株)取締役会長
常務取締役	荒木 渉	グループ総務・人事担当
常務取締役	照井 則男	グループデジタル・情報システム担当 兼デジタル・CRM推進室長
取締役	平井 雅丈	アニヴェルセル(株)代表取締役社長
取締役	谷井 真吾	(株)ヴァリック代表取締役社長
取締役	稲垣 稔	公認会計士
取締役	尾原 蓉子	
常勤監査役	榎本 雅也	
監査役	中村 憲侍	
監査役	渡邊 一正	渡辺商事(株)代表取締役会長
監査役	發知 敏雄	公認会計士

- (注) 1. 取締役稲垣稔及び尾原蓉子の両氏は、いずれも会社法第2条第15号に定める社外取締役です。また、両氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
2. 監査役渡邊一正及び發知敏雄の両氏は、いずれも会社法第2条第16号に定める社外監査役です。また、両氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
3. 監査役發知敏雄氏は、公認会計士の資格を有しており財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
4. 2018年6月27日開催の第42回定時株主総会終結の時をもって、牧倫匡氏は辞任により監査役を退任いたしました。
5. 2018年9月30日付で取締役副社長中村宏明氏は、辞任により退任いたしました。

**(2) 取締役及び監査役の報酬等の総額**

区分	支給人員 (名)	支給額
取締役 (うち社外取締役)	16名 (2名)	237百万円 (29百万円)
監査役 (うち社外監査役)	5名 (2名)	23百万円 (7百万円)
合計	21名	260百万円

- (注) 1. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。
2. 取締役の報酬限度額は、2008年6月20日開催の第32回定時株主総会において年額4億50百万円以内(ただし、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まない。)と決議いただいております。また、2018年6月27日開催の第42回定時株主総会において、この報酬とは別枠で、譲渡制限付株式付与のための報酬額として年額1億50百万円以内(社外取締役は除く)と決議いただいております。
3. 監査役の報酬限度額は、2008年6月20日開催の第32回定時株主総会において年額60百万円以内と決議いただいております。
4. 上記の支給額には、以下のものも含まれております。
- ・当事業年度における役員賞与引当金の繰入額  
取締役(社外取締役除く) 14名 29百万円
  - ・当事業年度における役員退職慰労引当金の繰入額  
取締役(社外取締役除く) 12名 10百万円  
監査役 1名 0名
  - ・当事業年度における譲渡制限付株式の付与による報酬額  
取締役(社外取締役除く) 7名 8百万円
5. 上記のほかに、第42回定時株主総会の決議に基づき、役員退職慰労金を退任取締役2名に251百万円支給しております。なお、この金額には当事業年度及び過年度の事業報告において開示した役員退職慰労引当金繰入額251百万円が含まれております。

**(3) 役員報酬決定方針**

取締役の報酬は、固定の基本報酬及び業績連動の賞与並びに譲渡制限付株式報酬からなり、株主総会で決議いただいた上限の範囲内で各取締役の職位、業績、能力に基づき、独立社外取締役も入った役員報酬決裁会議を経て取締役会で決定しております。なお、2019年4月より指名・報酬委員会への諮問、答申を受け取締役会で決定しております。また、社外取締役の報酬については、独立性維持の観点から固定報酬としております。

監査役の報酬は、株主総会で決議いただいた上限の範囲内で監査役の協議により決定しております。

**(4) 社外役員に関する事項**

- ① 他の法人等との兼職状況（他の法人等の業務執行者である場合）及び当社と当該他の法人等との関係  
 「(1) 取締役及び監査役の状況」に記載しております重要な兼職の状況につきまして、取締役稲垣稔及び監査役發知敏雄の両氏は、それぞれ稲垣稔税理士事務所及び發知敏雄税理士事務所の代表であり、当社との間には重要な関係はありません。また、監査役渡邊一正氏が兼務している他の法人等と当社との間には、重要な関係はありません。
- ② 他の法人等の社外役員の兼職状況及び当社と当該他の法人等との関係  
 該当事項はありません。
- ③ 当事業年度における主な活動状況  
 取締役会及び監査役会への出席状況

区分	氏名	出席状況	主な活動状況
取締役	稲垣 稔	取締役会 100% (12回中12回)	当事業年度に開催された取締役会及びその他重要な会議にも適宜出席し、公認会計士としての専門的な見地から、経営の監視と健全な経営のための適切な発言を行っております。
取締役	尾原 蓉子	取締役会 100% (12回中12回)	当事業年度に開催された取締役会及びその他重要な会議にも適宜出席し、ファッション業界に関する豊富な知識と経験、また、会社経営での経験から、経営の監視と健全な経営のための適切な発言を行っております。
監査役	渡邊 一正	取締役会 91.7% (12回中11回) 監査役会 91.7% (12回中11回)	当事業年度に開催された取締役会及び監査役会において、議案の審議に必要な質問と豊富な経験に基づく適切な発言を行っております。
監査役	發知 敏雄	取締役会 100% (12回中12回) 監査役会 100% (12回中12回)	当事業年度に開催された取締役会及び監査役会において、公認会計士としての専門的な見地から、議案の審議に必要な質問と豊富な経験に基づく適切な発言を行っております。

## 4 会計監査人の状況

### (1) 会計監査人の名称

PwCあらた有限責任監査法人

### (2) 報酬等の額

区分	報酬等の額（百万円）
当社が支払うべき報酬等の額	80
当社及び当社子会社が支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額	80

- (注) 1. 会計監査人の報酬等に監査役会が同意した理由  
当監査役会は、日本監査役協会が公表する「会計監査人との連携に関する実務指針」を踏まえ、監査計画における監査時間及び監査報酬の推移並びに過年度の監査計画と実績の状況を確認し、報酬額の見積りの妥当性を検討した結果、会計監査人の報酬等について、会社法第399条第1項の同意を行っております。
2. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当社が支払うべき報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

### (3) 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等その必要があると判断した場合は、会計監査人の解任又は不再任に関する議案を決定し、取締役会は、当該決定に基づき、当該議案を株主総会に提出いたします。

また、監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき監査役会が、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。



## 5 剰余金の配当等の決定に関する方針

### (1) 中長期的な方針

利益配分につきましては、経営の重点政策の1つとして認識しており、将来の事業展開、財務体質の強化等を勘案し、配当については、前年実績以上を維持しつつ配当性向30%以上を基本とすること、また、自己株式取得を含めた総還元性向については、特別な資金需要が無いことを前提に50%以上を目指すことを基本方針としております。

剰余金の配当は、中間配当と期末配当の年2回行うことを基本としておりますが、その他、基準日を定めて行うことができることとしております。また、株主総会の決議によらず取締役会の決議によって剰余金の配当を行うことができる旨定款に定めております。

内部留保につきましては、今後の継続的な成長のため各事業の設備投資と顧客ニーズに応える商品開発や情報システム投資のための資金需要に備えてまいります。

自己株式の取得、消却につきましては、投資計画や資金の状況、株価等を勘案し、機動的に行う方針としております。

### (2) 当期及び次期の配当等

当期末の利益配当につきましては、日頃の株主の皆様のご支援にお応えするため、2019年5月10日開催の取締役会決議により、1株当たり31円（普通配当23円、創業60周年記念配当8円）とさせていただきます。この結果、年間配当金は、すでにお支払いしております中間配当金の29円（普通配当22円、創業60周年記念配当7円）と合わせて、前期より16円増額の60円となります。また、配当金の支払開始日（効力発生日）は2019年6月6日（木曜日）とさせていただきます。

自己株式の取得については、2018年1月31日開催の取締役会決議により、2018年11月15日までに100万株を取得いたしました。

次期の利益還元について、基本方針と資金需要等を勘案し配当につきましては、普通配当として、1株当たり中間配当金を23円、期末配当金を23円とし年間配当金は1円増額し46円を予定しており、自己株式の取得については、環境等により機動的に検討してまいります。

## 連結貸借対照表 (2019年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	第43期 2019年3月31日現在	(ご参考) 第42期 2018年3月31日現在	科目	第43期 2019年3月31日現在	(ご参考) 第42期 2018年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>72,948</b>	<b>78,238</b>	<b>流動負債</b>	<b>37,177</b>	<b>40,750</b>
現金及び預金	26,558	32,175	買掛金	18,162	19,812
売掛金	11,793	11,659	1年内返済予定の長期借入金	2,650	2,650
たな卸資産	25,574	26,007	リース債務	1,709	1,864
その他	9,061	8,431	未払金	5,903	5,885
貸倒引当金	△38	△35	未払法人税等	579	2,593
<b>固定資産</b>	<b>159,107</b>	<b>160,829</b>	賞与引当金	2,078	1,978
<b>有形固定資産</b>	<b>109,958</b>	<b>111,669</b>	役員賞与引当金	83	123
建物及び構築物	60,933	60,585	その他	6,010	5,841
機械、運搬具及び工具器具備品	7,581	7,712	<b>固定負債</b>	<b>49,208</b>	<b>51,789</b>
土地	36,941	36,952	長期借入金	34,825	36,475
リース資産	4,367	5,153	リース債務	3,216	3,880
建設仮勘定	134	1,265	役員退職慰労引当金	—	2,018
<b>無形固定資産</b>	<b>5,932</b>	<b>5,796</b>	ポイント引当金	872	1,059
<b>投資その他の資産</b>	<b>43,216</b>	<b>43,364</b>	退職給付に係る負債	1,094	1,054
投資有価証券	4,209	4,361	資産除去債務	6,466	6,032
差入保証金	7,881	7,973	その他	2,733	1,269
敷金	20,536	20,610	<b>負債合計</b>	<b>86,385</b>	<b>92,539</b>
繰延税金資産	8,442	8,577	<b>(純資産の部)</b>		
その他	2,186	1,890	株主資本	145,315	146,039
貸倒引当金	△40	△50	資本金	23,282	23,282
<b>資産合計</b>	<b>232,056</b>	<b>239,068</b>	資本剰余金	27,846	27,833
			利益剰余金	100,488	100,299
			自己株式	△6,302	△5,376
			その他の包括利益累計額	280	401
			その他有価証券評価差額金	370	588
			退職給付に係る調整累計額	△89	△187
			新株予約権	75	87
			<b>純資産合計</b>	<b>145,671</b>	<b>146,528</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>232,056</b>	<b>239,068</b>

## 連結損益計算書 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	第43期	(ご参考) 第42期
	2018年4月1日から 2019年3月31日まで	2017年4月1日から 2018年3月31日まで
売上高	193,918	198,417
売上原価	110,325	111,552
売上総利益	83,592	86,864
販売費及び一般管理費	70,209	72,000
営業利益	13,382	14,864
営業外収益	912	908
受取利息	91	96
受取配当金	78	72
不動産賃貸料	556	571
その他	185	168
営業外費用	2,404	1,769
支払利息	299	328
不動産賃貸費用	471	496
固定資産除却損	558	263
60周年記念行事費用	450	119
その他	624	561
経常利益	11,890	14,003
特別利益	215	20
固定資産売却益	175	20
投資有価証券売却益	27	—
新株予約権戻入益	12	—
特別損失	4,669	2,117
固定資産売却損	—	38
減損損失	4,153	2,078
関係会社整理損	444	—
災害による損失	71	—
税金等調整前当期純利益	7,436	11,906
法人税、住民税及び事業税	2,670	4,822
法人税等調整額	163	△293
法人税等合計	2,834	4,528
当期純利益	4,602	7,377
親会社株主に帰属する当期純利益	4,602	7,377

## 貸借対照表 (2019年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	第43期	(ご参考) 第42期	科目	第43期	(ご参考) 第42期
	2019年3月31日現在	2018年3月31日現在		2019年3月31日現在	2018年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>28,136</b>	<b>37,370</b>	<b>流動負債</b>	<b>3,598</b>	<b>3,495</b>
現金及び預金	12,789	19,375	1年内償還予定の社債	200	—
前払費用	250	167	1年内返済予定の長期借入金	2,650	2,650
未収入金	1,558	946	リース債務	1	5
関係会社短期貸付金	6,000	3,560	未払金	260	318
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	7,500	13,300	未払費用	98	90
その他	38	20	未払法人税等	60	73
貸倒引当金	△0	△0	預り金	29	19
<b>固定資産</b>	<b>129,037</b>	<b>120,714</b>	前受収益	170	169
<b>有形固定資産</b>	<b>34,608</b>	<b>32,884</b>	賞与引当金	99	107
建物	7,541	4,771	役員賞与引当金	28	60
構築物	146	93	<b>固定負債</b>	<b>37,128</b>	<b>39,141</b>
車両運搬具	25	33	社債	—	200
工具、器具及び備品	3,921	3,833	長期借入金	34,825	36,475
土地	22,934	22,934	リース債務	—	1
リース資産	1	6	長期未払金	1,440	—
建設仮勘定	38	1,209	退職給付引当金	68	50
<b>無形固定資産</b>	<b>3,615</b>	<b>3,551</b>	役員退職慰労引当金	—	1,680
借地権	3,120	3,120	資産除去債務	89	27
ソフトウェア	343	300	長期預り敷金保証金	705	706
電話加入権	83	83	その他	—	0
ソフトウェア仮勘定	67	46	<b>負債合計</b>	<b>40,727</b>	<b>42,636</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>90,813</b>	<b>84,278</b>	<b>(純資産の部)</b>		
投資有価証券	3,605	3,544	<b>株主資本</b>	<b>116,001</b>	<b>114,780</b>
関係会社株式	64,650	64,850	<b>資本金</b>	<b>23,282</b>	<b>23,282</b>
出資金	101	101	<b>資本剰余金</b>	<b>31,360</b>	<b>31,347</b>
関係会社長期貸付金	19,950	13,300	資本準備金	26,100	26,100
長期前払費用	102	91	その他資本剰余金	5,260	5,247
差入保証金	194	215	<b>利益剰余金</b>	<b>67,660</b>	<b>65,526</b>
敷金	756	763	利益準備金	2,234	2,234
繰延税金資産	928	872	その他利益剰余金	65,426	63,292
その他	523	547	固定資産圧縮積立金	58	58
貸倒引当金	—	△10	別途積立金	36,908	36,908
<b>資産合計</b>	<b>157,174</b>	<b>158,084</b>	繰越利益剰余金	28,459	26,325
			<b>自己株式</b>	<b>△6,302</b>	<b>△5,376</b>
			<b>評価・換算差額等</b>	<b>370</b>	<b>578</b>
			その他有価証券評価差額金	370	578
			<b>新株予約権</b>	<b>75</b>	<b>87</b>
			<b>純資産合計</b>	<b>116,447</b>	<b>115,447</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>157,174</b>	<b>158,084</b>

## 損益計算書 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	第43期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	(ご参考) 第42期 2017年4月1日から 2018年3月31日まで
営業収益	3,767	3,509
経営管理料	3,767	3,509
売上総利益	3,767	3,509
販売費及び一般管理費	3,808	3,573
営業損失	40	63
営業外収益	8,457	6,736
受取利息	158	170
受取配当金	6,413	4,702
不動産賃貸料	1,855	1,833
雑収入	29	30
営業外費用	1,352	1,357
支払利息	213	238
不動産賃貸費用	941	981
雑損失	197	136
經常利益	7,063	5,315
特別利益	40	—
関係会社株式売却益	27	—
新株予約権戻入益	12	—
特別損失	539	38
固定資産売却損	54	38
減損損失	5	0
関係会社整理損	478	—
税引前当期純利益	6,565	5,276
法人税、住民税及び事業税	2	119
法人税等調整額	14	130
法人税等合計	17	249
当期純利益	6,547	5,027

## 連結計算書類に係る会計監査人の監査報告

### 独立監査人の監査報告書

2019年5月20日

株式会社AOKIホールディングス  
取締役会 御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 小林 昭夫 ㊞  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 天野 祐一郎 ㊞  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社AOKIホールディングスの2018年4月1日から2019年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

#### 連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社AOKIホールディングス及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 会計監査人の監査報告

## 独立監査人の監査報告書

2019年5月20日

株式会社AOKIホールディングス  
取締役会 御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 小林 昭夫 ㊞  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 天野 祐一郎 ㊞  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社AOKIホールディングスの2018年4月1日から2019年3月31日までの第43期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

### 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 監査役会の監査報告

2019年5月21日

## 監 査 報 告 書

株式会社AOKIホールディングス監査役会

常勤監査役 榎 本 雅 也 ㊟

監 査 役 中 村 憲 侍 ㊟

社外監査役 渡 邊 一 正 ㊟

社外監査役 發 知 敏 雄 ㊟

当監査役会は、2018年4月1日から2019年3月31日までの第43期事業年度の取締役の職務の執行に関し、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受け、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。また、取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）の状況を監視及び検証いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

## (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

## (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人PwCあらた有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

## (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人PwCあらた有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

以 上

以 上



*Bridal*



*Entertainment*

*Fashion*

# AOKIグループ REPORT

2019年3月期 株主通信

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日



株式会社AOKIホールディングス

証券コード：8214

## はじめに

株主の皆様には、平素よりAOKIグループに対し格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、AOKIグループは2018年9月に創業60周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位の長年にわたるご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当期は、ファッション事業及びエンターテイメント事業において30店舗の新規出店を行った一方、営業効率改善のための移転や業態転換等を含め77店舗を閉鎖いたしました。

さらに各事業で時代の変化やお客様のニーズの多様化に対応した諸施策を実施し、既存店の活性化に積極的に取り組みました。

その結果、複合カフェ運営事業が堅調に推移するも、店舗数の減少やファッション事業におけるビジネススタイルの変化や天候要因等の影響及びアニヴェルセル・ブライダル事業における施行組数の減少等により減収減益となりました。

## 今後の成長に向けた課題

次期におきましては、時代の変化に対応した諸施策を実施し、効率的な経営を推進するとともに、既存店の改廃に積極的に取り組み、事業基盤の強化に努めてまいります。

ファッション事業はAOKI、ORIHICA合わせて9店舗の新規出店と不採算店舗の閉店、移転や業態転換含めた店舗展開の見直しを積極的に実施し、営業効率の向上を図ってまいります。

アニヴェルセル・ブライダル事業は、集客力の強化を図るとともに、更なる営業効率の改善に努めます。



エンターテイメント事業は、お客様のニーズに合わせた店舗運営に注力するとともに、将来を見据えた業態の進化のための改装や業態転換並びに新規出店を積極的に行ってまいります。新規出店及び改装はそれぞれ100店舗を予定しております。

## 株主の皆様からのご支援とご期待にお応えして

当期末の利益配当は31円(普通配当23円、記念配当8円)(年間60円)とさせていただきます。またグループ各店舗でご利用いただける「株主御優待券」を発行しております。

次期の配当につきましては、普通配当として中間配当金を1株当たり1円増額し23円、期末配当金を23円とし、年間配当金は46円を予定しております。

今後も各事業が、グループとしてのシナジーを高めながら質の高い安定成長を図り、企業価値の向上を目指してまいります。

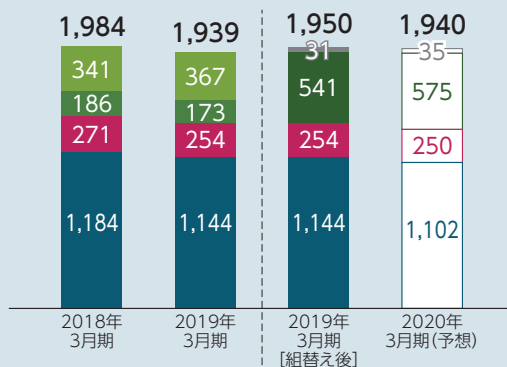
株主の皆様におかれましては、何卒倍旧のご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 連結業績及び配当金の推移

※従来、不動産賃貸収入は営業外収入、不動産賃貸原価は営業外費用並びに販売費及び一般管理費に計上しておりましたが、2020年3月期より売上高及び売上原価に計上する方法に変更する予定です。また、「カラオケルーム運営事業」と「複合カフェ運営事業」を統合し、「エンターテインメント事業」に変更いたします。そのため、売上高及び営業利益の2020年3月期予想についてはこれらを踏まえた数値となっております。また、ご参考として2019年3月期については組替え後の数値を併せて掲載しております。

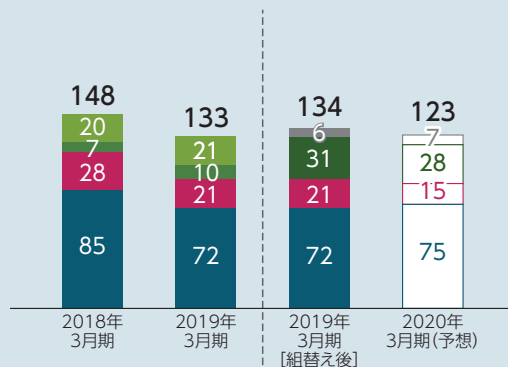
### 売上高 (単位:億円)

■ファッション事業 ■アニヴェルセル・ブライダル事業 ■カラオケルーム運営事業  
■複合カフェ運営事業 ■エンターテインメント事業 ■その他



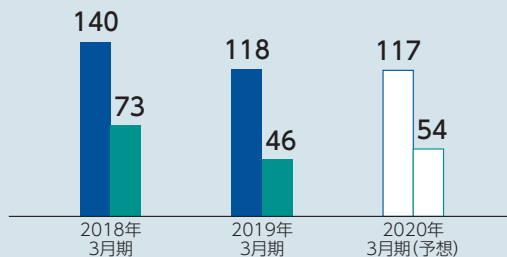
### 営業利益 (単位:億円)

■ファッション事業 ■アニヴェルセル・ブライダル事業 ■カラオケルーム運営事業  
■複合カフェ運営事業 ■エンターテインメント事業 ■その他



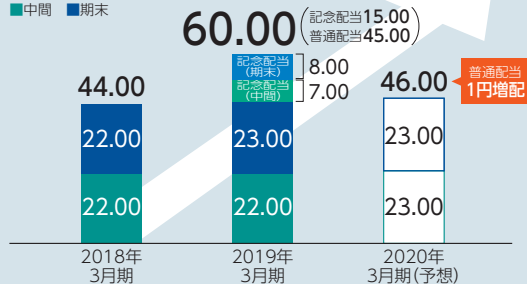
### 経常利益 / 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:億円)

■経常利益 ■親会社株主に帰属する当期純利益



### 1株当たり年間配当金 (単位:円)

■中間 ■期末



## 利益配分に関する基本方針

利益配分につきましては、経営の重点政策の1つとして認識しており、将来の事業展開、財務体質の強化等を勘案し、配当については、前年実績以上を維持しつつ配当性向30%以上を基本とすること、また、自己株式取得を含めた総還元性向については、特別な資金需要が無いことを前提に50%以上を目指すことを基本方針といたします。

特集

# AOKI横浜港北総本店リニューアルオープン & AOKIホールディングス新本社竣工

◆ 日本最大級の店舗が完成! ◆

31年目の横浜港北総本店が伝統と革新をテーマに  
「メンズ&レディース専門店AOKI」を体現する店舗へ

2F

スーツコーナー／フォーマルコーナー  
パーソナルオーダーコーナー **Pick UP!**

1F

アニヴェルセルカジュアルコーナー／カジュアルコーナー  
ビジネスコーナー／レディースコーナー  
AOKIウーマンスタイルコーナー／サイズマックス

**Pick UP!**

## パーソナルオーダーコーナー

AOKI独自のスタイリスト接客でジャストサイズを実感いただけるパーソナルオーダースーツをご提供いたします。



2018年12月、日本最大級のAOKI横浜港北総本店をリニューアルオープンしました。「伝統と革新」をキーコンセプトに、外観・店内売場環境を大幅にリニューアル。増床部分の外観は格式の高い伝統的なデザインで、駐車場がピロティとなるため雨天時も雨に濡れることなく車の乗降ができます。コーナーごとに細かなテーマを決めて演出を強化するとともに、お子様やお連れ様もゆったりとお買い物をしていただけるよう、各コーナーにラウンジ風の休憩コーナーを配置するなど、随所に快適なお買い物をお楽しみいただける工夫を凝らしています。

## 店舗情報

店舗名 AOKI横浜港北総本店  
住所 神奈川県横浜市都筑区葛が谷6-56  
電話番号 045-941-9888  
営業時間 10:00~20:00

◆ さらなるお客様満足度の向上に向けて ◆

## 「働き方改革」を実現する新オフィス + スピーディーな顧客対応を実現する社内システムを導入

### 「働き方改革」を実現する新オフィス

創業60周年を迎えたAOKIホールディングスは、2018年12月に本社を移転いたしました。新社屋の1、2階はリニューアルしたAOKI横浜港北総本店となっており、3階がAOKI本社、4階がAOKIホールディングス本社及び受付・商談スペース、5階が食堂やコミュニケーションスペースとなっています。これを機に、AOKIホールディングスと創業事業であるファッション事業との情報共有・連携を強化し、事業コンセプトである「人々の喜びを創造する」を今まで以上に追求してまいります。

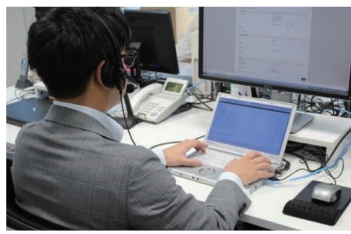
新社屋のオフィススペースは、「働き方改革」を推進するため、壁や間仕切りをなくし、社員全員がいつでも、どこでもスピーディーにコミュニケーションがとれる機能的で機動的なつくりとしました。また、ファッションのAOKIのオフィフロア内には、シーズン別模擬店舗を配置。当シーズンの商品分析や翌シーズンの商品政策をその場で検討できるようになっています。

### 新オフィスのポイント

- 1 壁や間仕切りをなくした機能的で、機動的なオフィススペース
- 2 フリーアドレスを導入
- 3 3階オフィフロア内にシーズン別模擬店舗を配置



4階 商談スペース



### 新システムの導入で効率的な顧客対応が可能に

クラウドを活用した先進的なコンタクトセンターシステム「<sup>コスモ</sup>COSMO」を、2018年8月に導入しました。これにより、業務工数を大幅に削減しながら、電話応答率や対応履歴の記録率を劇的に向上することに成功。複数部門間の情報共有もスムーズになり、お問い合わせに対して迅速な回答を実現しました。



4階 受付スペース

### 新たなグループロゴマークを制定しました。

新ロゴマークは、AOKIグループの経営理念である「社会性の追求」「公益性の追求」「公共性の追求」を「無限大」のマークでシンボル化し、グループの可能性を表現しております。



## ファッション事業

AOKI

### 着心地とシルエットの美しさを追求

#### 「AOKIウーマンスタイル」スーツ・ジャケット・カットソーを新発売

「AOKIウーマンスタイル」は、40代・50代の大人の女性特有の「年齢に伴うサイズ変化により着心地が変わる、部分的なシルエットが気になる」といったお悩みを解決するAOKIレディースの新ラインです。3D人体計測データの活用と3D設計シミュレーションにより、着心地の良さとシルエットの美しさを両立した型紙を独自開発しました。スーツからジャケット・カットソー・ニットなどトータルコーディネートでお楽しみいただけます。ストレッチ性やしわになりにくい便利な機能性を備え、ビジネスからセレモニーまで大人の女性をより美しく輝かせるアイテムを揃えています。



「AOKIウーマンスタイル」スタイリング例

### オフもアクティブに楽しむプラチナ世代のライフスタイルをサポート カジュアルブランド「ANNIVERSAIRE (アニヴェルセル) カジュアル」が新たに誕生



ブランドタグ

「ANNIVERSAIREカジュアル」  
スタイリング例

「ANNIVERSAIREカジュアル」は、年齢に左右されず、ビジネスもプライベートも常に好奇心やチャレンジ精神を持って毎日を過ごすお客様に、ファッションを通じて“新しい体験”を楽しんでいただきたいという想いで誕生しました。体形変化などを配慮したスマートな大人のスタイルを意識するとともに、スーパー160'sのやわらかな糸やイタリア製生地などを採用し、風合いと着心地の良さも実現。落ち着いたベースカラーに華やかなアクセントカラーを取り入れ、エレガントな大人のファッションを楽しむスタイリングを提案します。

店舗のご案内

株式会社AOKI



AOKI

<https://www.aoki-style.com/shoplist>

Aoki  
Tokyo

## AOKIのオーダー事業戦略第3弾 都市型・オーダー単独店ブランド「Aoki Tokyo」銀座・池袋にオープン

オーダー事業戦略として、オーダー単独店の新ブランド「Aoki Tokyo」を立ち上げ、銀座6丁目店と池袋東口店の2店舗をオープンしました。カウンセリングによりお好み・お悩み・ご予算などをお伺いし、お客様のご要望に沿うスーツをご提案。専門フィッターによる全身20カ所以上の採寸と細かな体型補正により、パターンオーダーよりも高いフィット感をご提供します。



店内イメージ



「Aoki Tokyo」銀座6丁目店

## ORIHICA 白くても透けにくい「防透けホワイトシャツ」を新発売

ビジネスシャツを着用した際に地肌や肌着が透けるのが気になるというお声に応えるため、ORIHICAでは東レ(株)の透け防止テキスタイル「Sheltering White®」を使用した「防透けホワイトシャツ」を新たに発売しました。透け防止機能に加えて、形態安定加工により洗濯や着用時の型崩れを軽減するとともに、伸縮性により快適な着心地も実現。色はすべて白ですが、20種類のデザインバリエーションを用意しており、ファッション性と機能性を兼ね備えています。



防透けホワイトシャツ

店舗のご案内

株式会社AOKI

ORIHICA <https://www.orihica.com/shoplist/>

## ■ アニヴェルセル・ブライダル事業

### プロのサービスパーソン「国内No.1」を決定する HRSサービスコンクール2019にて銀賞・敢闘賞を受賞

日本ホテル・レストランサービス技能協会が、次世代を担うプロのサービスパーソンを対象に、技能とサービスへの意識向上を目的に開催しているHRSサービスコンクール2019のヤングプロフェッショナル部門に、アニヴェルセルは唯一ウエディング専門式場から出場。関東のウエディング専門式場として初めて、銀賞と敢闘賞を受賞しました。



授賞式の様子

### ブランドメッセージは「結婚式をするから、家族が生まれる。」 アニヴェルセル公式ブランドサイト リニューアル



ブランドサイトトップページ

アニヴェルセル公式ブランドサイトは、2018年10月大幅にリニューアルしました。新サイトでは、トップページで「想像してみてください。結婚式を終えた、その夜。」と問いかけ、スタッフの想いを紹介する「アニヴェルセルの姿勢」、実際に挙式をされた新郎新婦のストーリーを綴った「ふたりの体験談」、アニヴェルセルオリジナル挙式についてや当日までの流れを時系列で案内する「結婚式の流れ」など、多彩なコンテンツで結婚式の本質的な価値をお伝えしています。

店舗のご案内

アニヴェルセル株式会社



アニヴェルセル <https://www.anniversaire.co.jp/>



## カラオケルーム運営事業 コート・ダジュール

### お客様のご利用状況に合わせて営業時間の見直し・定休日の導入を一部店舗で実施

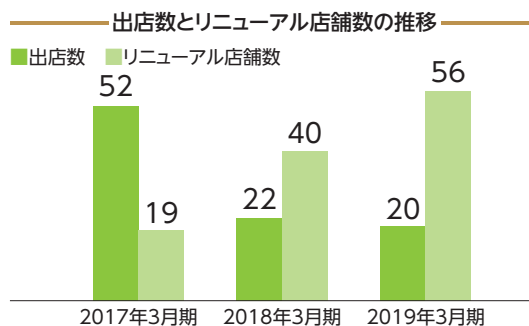
コート・ダジュールでは、お客様のニーズに合わせて早朝営業の実施や、午前11時までのお得なモーニングパックの提供により、幅広い顧客層にお楽しみいただける店舗づくりを行っています。同時に、ご利用状況に合わせた定休日の導入によって、無駄のない効率的な店舗運営を推進しています。

<p>店舗のご案内</p> <p>株式会社ヴァリック</p>		<p>コート・ダジュール <a href="https://www.cotedazur.jp/branch/">https://www.cotedazur.jp/branch/</a></p>
--------------------------------	---	--

## 複合カフェ運営事業 快活CLUB

### 積極出店&リニューアル実施により事業を拡大

快活CLUBは、既存店56店舗で、ブース構成の改善やカラオケ、禁煙ブース、シャワーの増設、高性能パソコン導入等のリニューアルを実施しました。また、無料モーニング等の展開、シャワー無料及びタオル使い放題実施店の拡大等により、既存店の活性化を推進しています。さらに、新規に20店舗を出店し、積極的な店舗展開を実施。極上のリラックスをさらに気軽にお楽しみいただける環境を整えています。



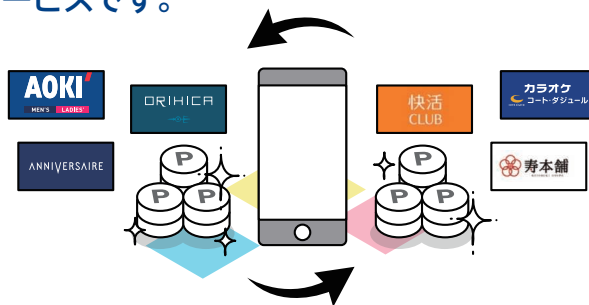
<p>店舗のご案内</p> <p>株式会社ヴァリック</p>		<p>快活CLUB <a href="https://www.kaikatsu.jp/shop">https://www.kaikatsu.jp/shop</a></p>
--------------------------------	---	---

2019年  
1月末～

## AOKIグループ新会員制度 「AOKIグループアンバサダーズ」を開始

これまで各事業が別々に管理していた顧客情報を一元化し、分析することで優れた顧客体験をご提供し、グループ全体で顧客満足度向上を図ります。

お客様一人ひとりのライフステージに応じたサービスの提供を目指す、  
AOKIグループ共通のお得な会員サービスです。



### ■ 「AOKIグループアンバサダーズ」のお得な特徴



AOKIグループの各店舗で  
ポイントが使える・貯まる!



会員利用状況毎に  
様々な特典をご提供



家族・友人紹介で  
もっとお得に



ポイントは  
豪華景品と交換



SNSに投稿で  
特典をご用意



スペシャルイベントに  
ご招待

### ■ 今後のスケジュール

2019年1月末～

AOKI・ORIHIKAでサービス開始



2020年4月(予定)

グループ全社でサービス開始予定



● ご登録はこちらから >>> <https://aoki-group-ambassadors.com>



◆ 株主御優待券について ◆

毎年9月30日及び3月31日現在の株主名簿に記録された株主様に対し、  
下記の基準により当社グループの各店舗でご利用いただける株主御優待券を発行いたします。

## AOKI / ORIHICA / アニヴェルセル カフェ






100株以上 1,000株未満	<b>20%割引券 5枚</b>
1,000株以上	<b>20%割引券 10枚</b>

AOKI
ORIHIKA

## アニヴェルセル





100株以上	<b>披露宴 10万円割引券 1枚</b>
--------	---------------------------

アニヴェルセル

## コート・ダジュール / 快活CLUB






100株以上 1,000株未満	<b>総額20%割引券 10枚</b>
1,000株以上	<b>総額20%割引券 30枚</b>

コート・ダジュール
快活CLUB

※アニヴェルセル カフェ(ウエディングを除きます)は10%割引とさせていただきます。  
 ※AOKI、ORIHIKAは、他の割引券・割引特典等と1件限り併用いただけます。  
 ※コート・ダジュール、快活CLUBは、他の割引券及び割引特典並びにサービスとの併用はできませんのでご了承下さいませ。

# 株主総会会場ご案内図

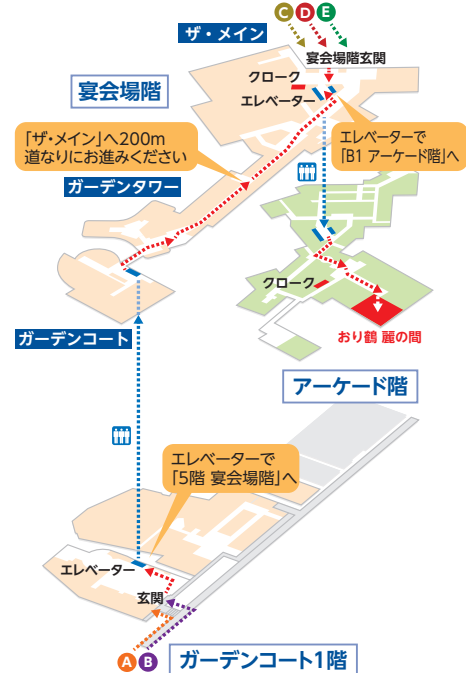
**会場** 東京都千代田区紀尾井町4番1号 ☎03-3265-1111 (代)  
**ホテルニューオータニ ザ・メイン**  
 アーケード階「おり鶴 麗の間」

## 会場(アーケード階)までの経路

ザ・メイン[宴会場階/フロント]からお越しの方は、宴会場階玄関から入り、エレベーターで「アーケード階」へお下がりください。



ホテルニューオータニ ザ・メイン



ガーデンコート1階からお越しの方は、エレベーターで5階「宴会場階」へお上がりいただいた後、ザ・メインへお進みいただき、その後エレベーターで「アーケード階」へお下がりください。

交通のしるし



- |                     |                                 |        |
|---------------------|---------------------------------|--------|
| <b>A</b> 銀座線・丸ノ内線   | 赤坂見附駅 (赤坂地下歩道 ㊦ 紀尾井町方面口) より徒歩3分 | — 徒歩経路 |
| <b>B</b> 半蔵門線       | 永田町駅 (7番口) より徒歩3分               | — 徒歩経路 |
| <b>C</b> 有楽町線       | 麹町駅 (麹町口) より徒歩6分                | — 徒歩経路 |
| <b>D</b> 丸ノ内線・南北線   | 四ツ谷駅 (赤坂口) より徒歩8分               | — 徒歩経路 |
| <b>E</b> JR 中央線・総武線 | 四ツ谷駅 (麹町口) より徒歩8分               | — 徒歩経路 |

◎ 当日は、会場周辺道路及び駐車場の混雑が予想されますので、お車でのご来場はご遠慮願います。

株式会社AOKIホールディングス



見やすく読みまちがえにくい  
 ユニバーサルデザインフォント  
 を採用しています。